



2024年3月期決算説明資料
〈補足説明資料〉
東京地下鉄株式会社
2024年5月8日

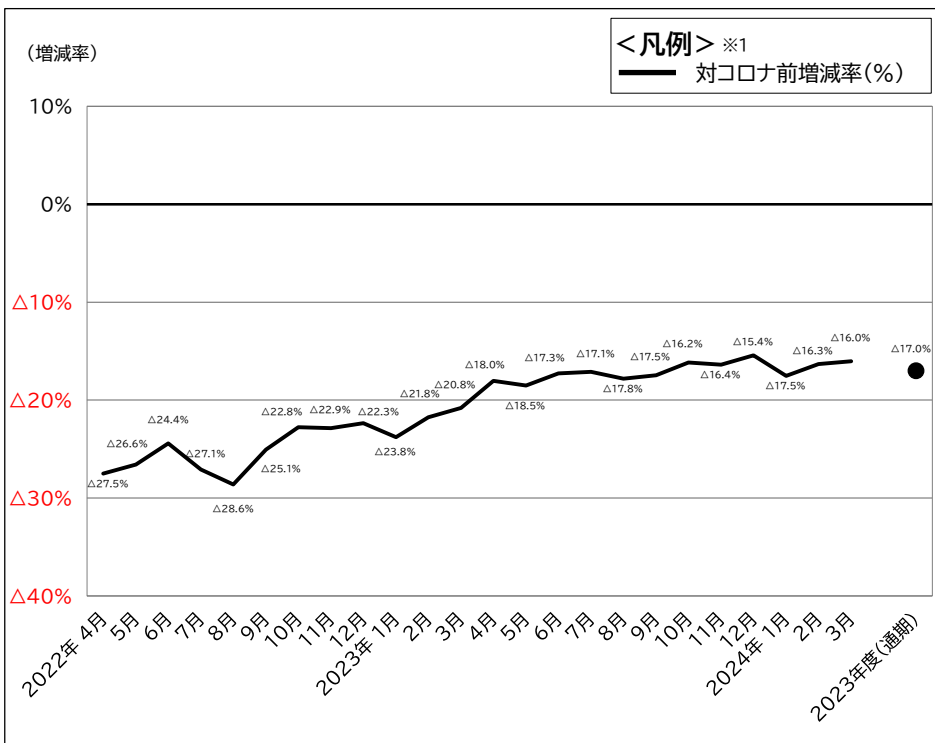
運輸収入トピックス①

定期・定期外合計(平日)及び定期(平日)のご利用において、
新型コロナウイルス感染症による影響からの回復が見られました。

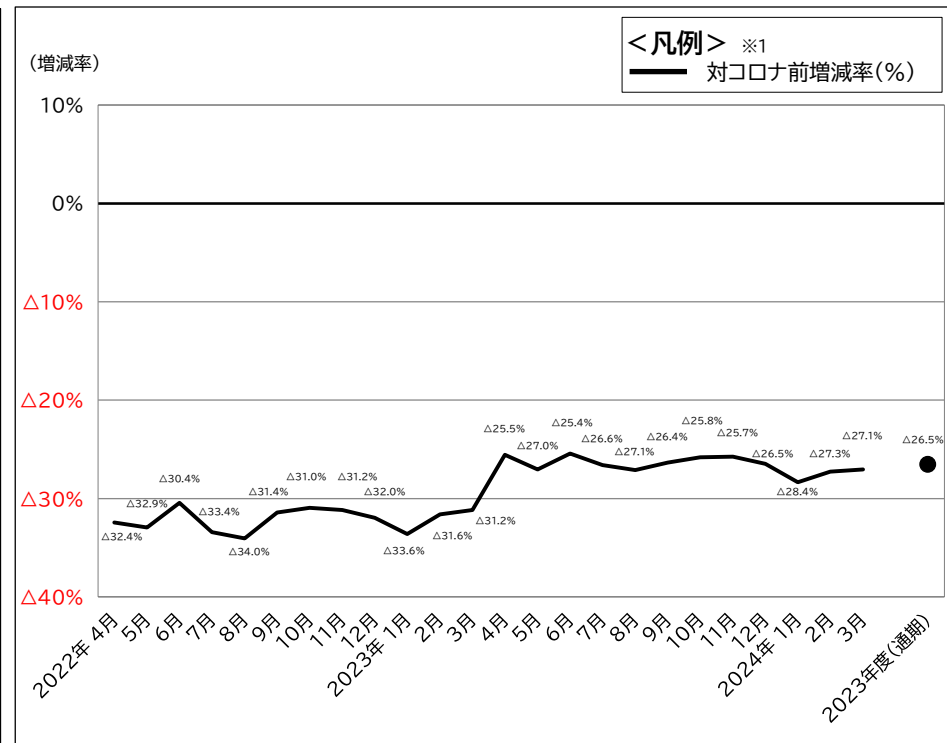
全線における自動改札機データ(定期・定期外合計及び定期 コロナ前同月比)

- 自動改札機における全駅の平日の定期・定期外合計出場枚数は、2022年7月から8月の感染拡大期を除き、減少幅が総じて縮小傾向にあり、堅調な推移が見られました。

平日(定期・定期外合計) 出場



平日(定期) 出場



※1 コロナ前:2019年4月~2020年1月、2019年2月~3月(2020年2月~3月はコロナの影響を受けているため比較対象を2019年2月~3月としております)

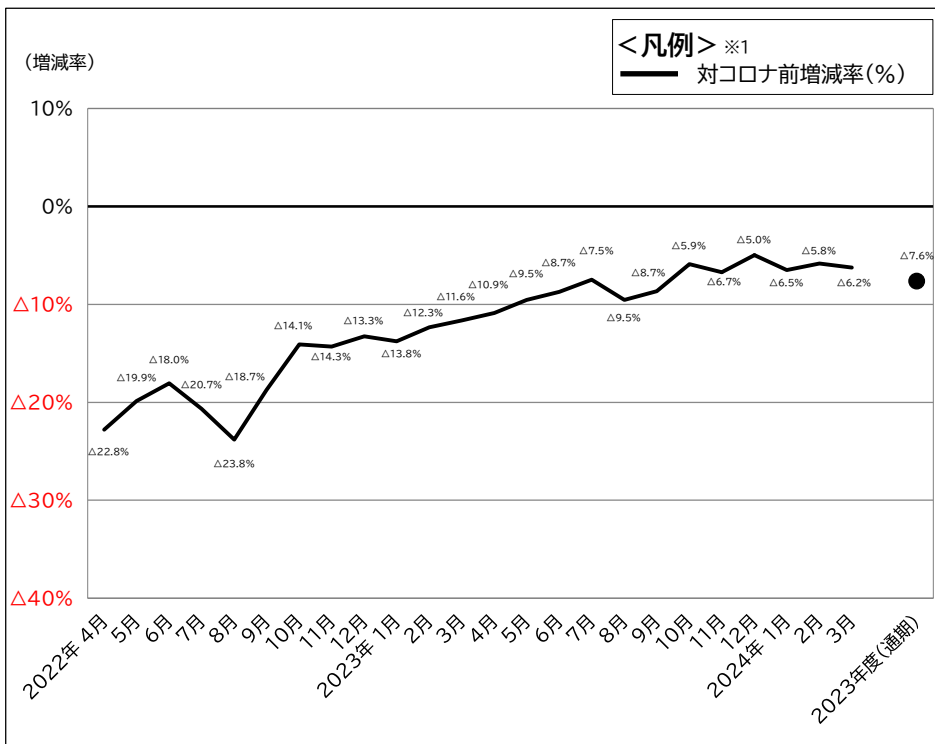
運輸収入トピックス②

定期外(平日及び土休日)のご利用において、
新型コロナウイルス感染症による影響からの回復が見られました。

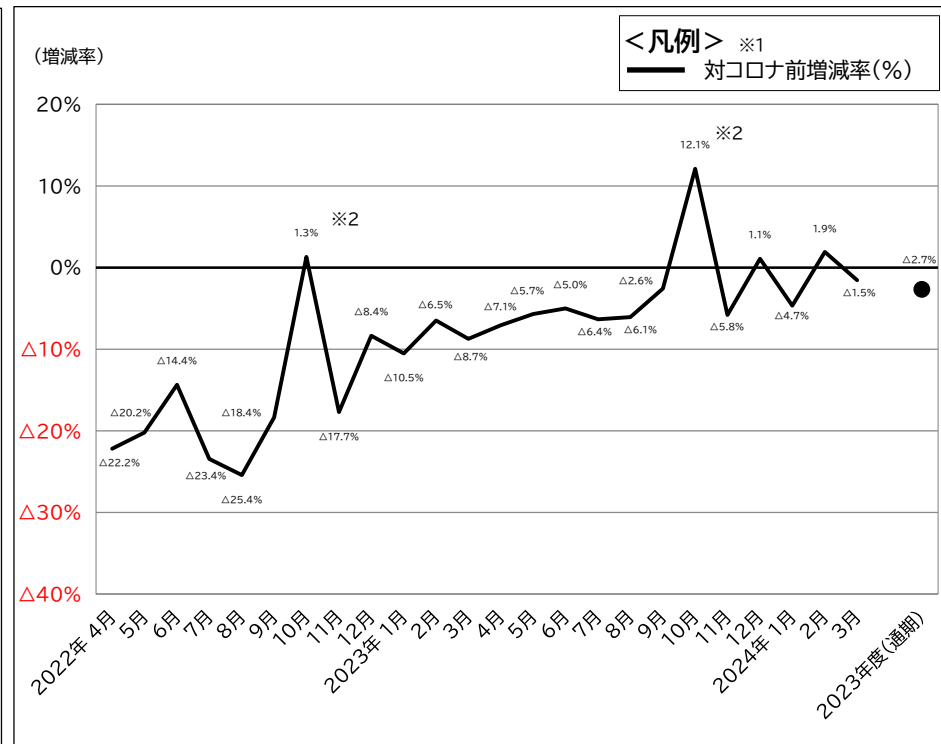
全線における自動改札機データ(定期外 コロナ前同月比)

- 平日及び土休日の定期外出場枚数は、2022年7月から8月の感染拡大期を除き、減少幅が総じて縮小傾向にあり、特に土休日の定期外出場枚数は2023年1月から好調に推移しています。

平日(定期外) 出場



土休日(定期外) 出場



※1 コロナ前:2019年4月~2020年1月、2019年2月~3月(2020年2月~3月はコロナの影響を受けているため比較対象を2019年2月~3月としております)

※2 2019年10月12日(土)、13日(日) 台風19号による運休の影響を含む。(2022年10月、2023年10月 約11ポイント減少幅圧縮)

2023年度設備投資実績

2023年度は、安全の確保を前提とした削減を実施しつつ、安全対策をはじめとして、965億円の設備投資を実施しました。

新線建設

20億円

- ・南北線延伸、有楽町線延伸

環境対策・その他

78億円

- ・環境対策(LED照明化等)
- ・社内情報システム改良 等

都市・生活創造事業

168億円

- ・新宿駅西口地区開発計画
- ・池袋二丁目用地開発 等



▲新宿駅西口地区開発計画

旅客サービス

247億円

- ・バリアフリー設備整備
- ・駅のリニューアル(日本橋駅等)
- ・駅空調設備更新 等



▲東西線日本橋駅リニューアル後

11億円

自然災害対策

- ・大規模浸水対策 等

【2023年度末時点での進捗率】

- ・大規模浸水対策(駅出入口) 56%



▲大規模浸水対策工事前 ▲大規模浸水対策工事後

総額の約41%を自然災害対策・安全対策に投資

386億円

安全対策

- ・新型車両の導入
- ・信号保安設備改良
- ・ホームドア整備 等



▲日比谷線三ノ輪駅

【2023年度末時点での新型車両導入率】

- ・丸ノ内線 導入完了
- ・半蔵門線 57%



▲丸ノ内線2000系

53億円

輸送改善

- ・東西線の輸送改善 等

総額
965億円

鉄道事業における取組み

2024年度は、列車運行の安全性向上に資する取組みをさらに加速させるとともに、サービスの拡充と進化により、人の動きを創出し、鉄道事業のさらなる成長を目指します。

安全性の向上

ホームドア整備

ホームから線路内への転落事故や列車との接触を防止し、お客様により安心してご利用いただくことを目的にホームドアの整備を進め、日比谷線においても昨年度末に100%整備完了しました。

今後、2025年度的全線整備完了(一部の大規模改良工事中の駅を除く)に向け、東西線、半蔵門線で引き続き整備を進めます。

H 日比谷線 **100%**整備完了
(2023年度末時点)

全路線	94%整備完了予定
T 東西線	65%整備完了予定
Z 半蔵門線	79%整備完了予定

(2024年度末時点)



▲半蔵門線ホームドア(イメージ)

車内セキュリティカメラの設置

車内のお客様の安全性向上のため、車内セキュリティカメラの早期設置を進め、現在83%の車両において設置が完了しています。今年度、全路線の全ての当社車両において設置が完了する予定です。

(当初計画) **2030年度** 100%設置予定
(6年前倒し)
(現計画) **2024年度** 100%設置予定
(2023年度末時点) **83%** 設置完了*

(※)設置完了…日比谷線・半蔵門線



▲車両ドア上 鴨居型



▲室内灯一体型

人の動きの創出

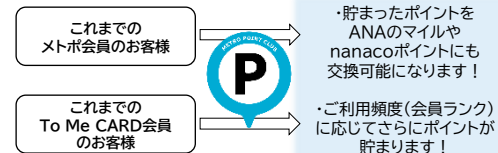
メトポとTo Me CARDのメトロポイントの統合

本年4月15日から両サービスを統合し、新しいメトロポイントクラブ(通称:「メトポ」)として、共通のポイントが貯まる・使えるようになりました。

これにより、両サービスの一部を相互にご利用いただけるようになることで、より便利でお得なサービスに生まれ変わるとともに、メトポを活用したお客様の新たなお出かけ機会を創出します。

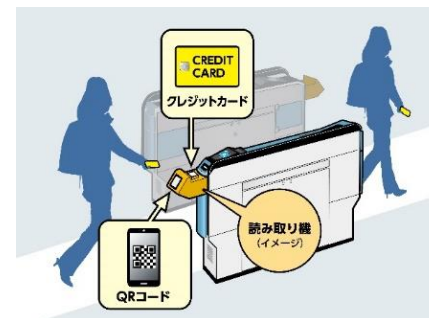


4月15日
ポイント統合開始



新たな乗車サービスの展開

交通系ICカードを主軸としつつ、ライフスタイルの変化による多様なニーズに対応した新たな乗車サービスの提供を推進するため、クレジットカードのタッチ決済及びQRコードを活用した乗車サービスの実証実験を今年度中に実施します。



2024年度中
当社線企画乗車券で
実証実験開始予定

都市・生活創造事業における取組み

2024年度は、当社が保有する資産を活用した複数の開発物件が新たに竣工、開業します。

これまで以上に、不動産事業の拡大とまちづくりとの連携を進めるとともに、人々のより豊かな生活の実現に貢献していきます。

北馬込一丁目用地開発

最寄り駅・・・東急池上線長原駅/東急池上線・大井町線旗の台駅

当社の社員寮跡地を有効活用し、介護付有料老人ホームを開発しています。(運営会社:(株)チャーム・ケア・コーポレーション)

本年5月に建物を竣工し、7月に介護付有料老人ホーム「チャームスイート旗の台」として開業します。



「チャームスイート旗の台」建物イメージ▲

2024年7月開業予定

池袋二丁目用地開発

最寄り駅・・・**M****Y****F** 丸ノ内線・有楽町線・副都心線池袋駅

ホテルとして営業している当社所有物件の増築棟として開発するとともに、副都心線池袋駅の出入口を新設し、接続します。

今年度中の竣工を目指し、現在工事を進めています。

2024年度竣工予定



◀ホテル建物イメージ

弥生町五丁目用地開発

最寄り駅・・・**M** 丸ノ内線中野富士見町駅

当社の研修センター跡地を有効活用し、賃貸住宅を開発しています。

今年度中の竣工に向け、現在工事を進めています。



賃貸住宅イメージ▲

2024年度竣工予定

東上野四丁目A-1地区再開発

最寄り駅・・・**G****H** 銀座線・日比谷線上野駅

周辺地権者とともにまちづくりを推進するにあたり、本年3月に地権者とともに、「東上野四丁目A-1地区再開発準備組合」を設立しました。

2030年代半ばの完成を目指し、「事業協力者」として推進していきます。

2030年代半ば完成目指

〈検討区域図〉

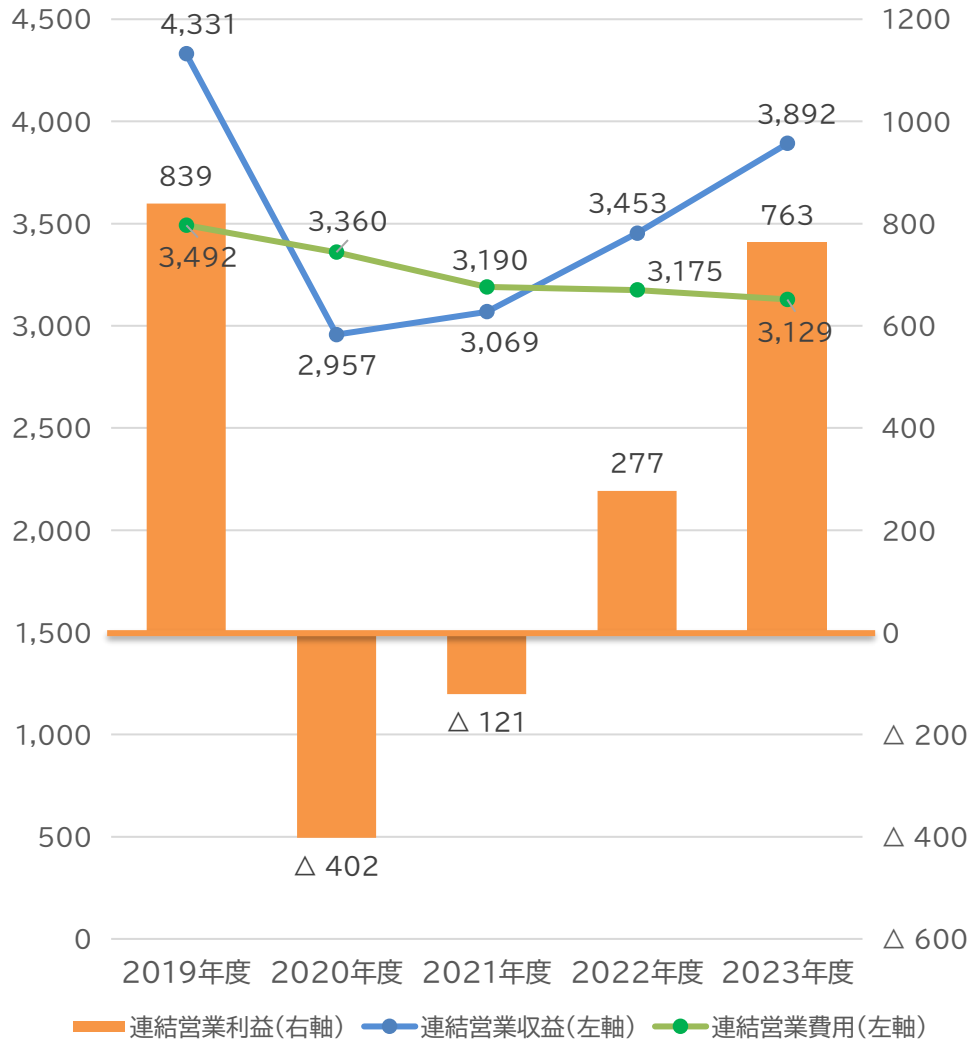


※この検討区域図は、国土地理院発行の地理院地図(電子国土 Web)を使用したものです。

決算の推移

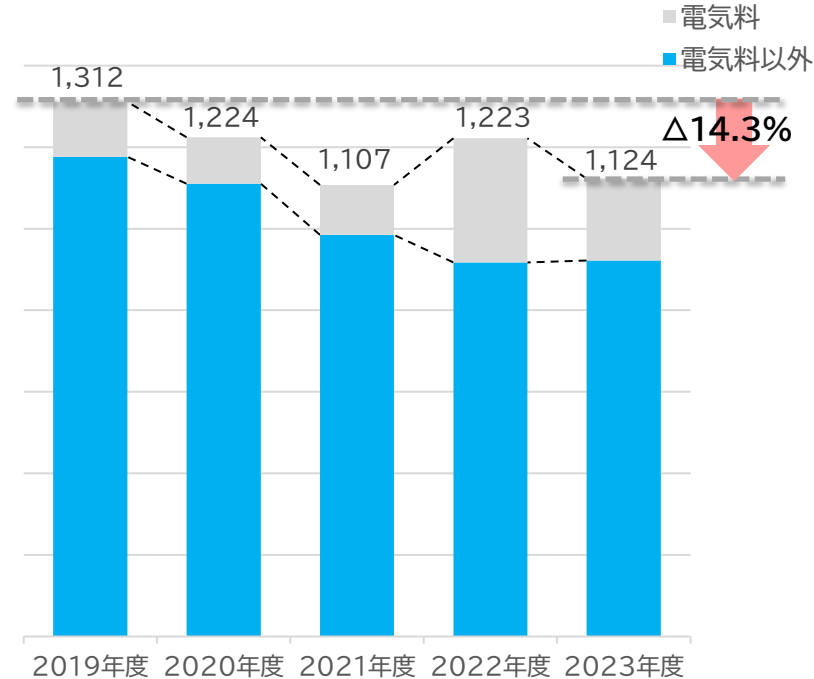
経済活動の活性化による収益の増加に加え、固定費の圧縮等により利益水準が大きく回復しました。

連結営業収益及び連結営業利益の推移(単位:億円)



営業費用(単体)

鉄道事業経費の推移(単位:億円)



継続的に固定的な運営コストの削減に努め、
コロナ前と比較して経費の削減を実現しています。